## 改正による『償却奉行21』での実務影響 (『勘定奉行21』と連動して、仕訳伝票を作成している場合)

### 1. 改正による実務への影響範囲を確認する

平成23年度の消費税法改正のうち、

●『消費税申告書』と『付表2』の様式の変更

●還付申告に関する明細書の添付の義務化

に関しては、保守契約にご加入のお客様に対して改正に対応した『勘定奉行』のプログラ ムディスクを送付いたします。そのプログラムをセットアップすると、これらの改正に対 応できます。

一方で、いわゆる「95%ルール」の改正に関しては、実務(仕訳伝票の入力)への影響が あり、『償却奉行』から資産の購入仕訳やリースの契約仕訳などの仕訳伝票を『勘定奉行』 へ連動する場合は、連動後、税区分が異なる一部の仕訳伝票について、『勘定奉行』で 「税区分」を変更していただく必要があります。

お客様の実務に影響があるかは、以下の項目に該当するかでご確認ください。

すべての項目に該当する場合は、

P.4「『償却奉行』での対応方法」をご確認の上、仕訳伝票を作成してください。

『勘定奉行』 『勘定奉行[個別原価管理編]』 『建設奉行』のいずれかの 製品と連動して、「減価償却費の計上仕訳」以外に以下の3種類のうち いずれかの仕訳伝票を作成する 1. 資産の購入(取得)仕訳 2. ファイナンスリースの契約仕訳 <Aシステム対象外> 3. リース料の支払仕訳 <Aシステム対象外> ※「減価償却費の計上仕訳」だけを作成する場合など、上記3種類の仕訳伝票を作成しない 場合は、今までどおりの運用になります。 ●当会計期間の課税売上高が5億円を超える ※課税売上高が5億円以下の場合は、今までどおりの運用になります。 ●「個別対応方式」を採用する。 ※「個別対応方式」でも、課税売上割合が95%未満の場合は、今までどおりの運用 になります。 ※「一括比例配分方式」を採用する場合は、今までどおりの運用になります。 ※「個別対応方式」「一括比例配分方式」については、別紙 『改正による実務への 影響確認』-P.2「2. 「個別対応方式」「一括比例配分方式」のどちらを採用 するか検討する際のポイントを押さえましょう」をご参照ください。 ●当会計期間が平成24年4月1日以降(4月1日も含む)に始まる ※当会計期間が平成24年4月1日より前に始まる場合は、今までどおりに運用します。 翌会計期間から、実務に影響します。

## 2. 実務への影響度合(作業負担)を確認する

「個別対応方式」を採用する場合だけ、ご確認ください。

「個別対応方式」を採用する場合は、課税で販売する商品のための資産の購入か、管理部 門など間接部門で使用する資産の購入かなどで、以下の3つの税区分に分かれます。

「課税売上に関わる仕入」「非課税売上に関わる仕入」「共通売上に関わる仕入」

償却奉行では、資産の勘定科目に1つの税区分だけが設定可能なため、税区分が設定と異なる一部の仕訳伝票については、勘定奉行側で直接、仕訳伝票の税区分を変更する必要があります。

ここでは、どのような税区分を設定するかを説明します。

課税の商品を販売している事業者と、課税と非課税の商品の両方を販売している事業者を 例に、それぞれ説明します。あてはまる方だけご確認ください。

#### 課税の商品だけを販売する事業者

課税で販売する商品のための資産の購入は、「課税売上分」(税区分「課税売上に関わる仕入」)、 それ以外の資産の購入は「<u>課税売上・非課税売上共通(以下、共通売上</u>)分(税区分「共通売 上に関わる仕入」)として、税区分を設定します。

また、課税で販売する商品のための資産に対する費用は「課税売上分」、それ以外の資産 に対する費用は「<u>共通売上</u>分」として登録します。

#### 資産の購入伝票

- ・資産の購入(取得)仕訳
- ・ファイナンスリースの契約仕訳



#### 課税と非課税の商品の両方を販売する事業者

以下の税区分を設定します。

- ・課税で販売する商品のための資産の購入は、「課税売上分」(税区分「課税売上に関わる 仕入」)
- ・非課税で販売する商品のための資産の購入は、「<u>非課税売上</u>分」(税区分「非課税売上 に関わる仕入」)
- ・上記以外の資産の購入は、「<u>課税売上・非課税売上共通(以下、共通売上</u>)分(税区分 「共通売上に関わる仕入」)
- また、
- ・課税で販売する商品のための資産に対する費用は、「課税売上分」
- ・非課税で販売する商品のための資産に対する費用は、「非課税売上分」
- ・それ以外の資産に対する費用は、「<u>共通売上</u>分」
- として登録します。





# 『償却奉行』での対応方法

【事前の設定】 資産の勘定科目ごとに、税区分を設定する

以下の内容は、課税の商品だけを販売する事業者 または 課税と非課税の商品の両方を販売する事業者 のいずれの場合も、ご対応ください。

資産の勘定科目ごとに「税区分の設定」を変更する手順について説明します。

勘定科目の税区分には、「課税売上に関わる仕入」「非課税売上に関わる仕入」「共通売 上に関わる仕入」のうち<u>最も多い区分</u>の税区分(例:課税で販売する商品のための資産の 購入が多い場合は、課税売上分一般仕入)を設定します。

▶ 以降は、税区分に「課税売上分一般仕入」を設定する場合を例に説明します。

- 1. [随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]-[当期取得]メニューを選択します。 (ファイナンスリースの契約仕訳の場合は[当期リース資産取得]メニュー、 リース料の支払仕訳の場合は[リース料支払]メニューを選択します。)
- 2. [仕訳コード設定(×××)]画面で、 [税区分] ([F6] キー)を押します。

	3- 0 (T S S -				
##2 仕訳コー	ド設定(当期取得)				- • ×
<mark>コード</mark> 種類コート (借 固定資産	資産種類名 方) 勘定科目	(質	方) 3.勘定科目		
] ]-ト°	資産種類名	固定資産	支払勘定	参照	
0 2010 2011 2022 203 2055 206 208 209 215 221 222 223 223 224 233 250	その他 盗産種類 構築 物 横続装置 船両運搬具 工具器費 開発・ウェア リントン資産 北 型2段版物定 生 の他の有 形固定 温産 電話加入権 借地種 長期前払費用	200 202 203 204 205 280 220 221 241 240	100 100 100 100 100 100 100 100	勘定奉行(建設奉行)で 設定されている総勘定科目 コードに合わせてコードを 設定して下さい。 科目コードを設定した場合 には、必ず下6「税区分」 ボタンより、税区分の設定 についても確認して下さい。	
[F1] ヘルプ [ 資産種類コー	[F2] [F3] [F4] EN劇等 次画面 -ドを入力して下さい。	[F5] 前画面	[F6] [F7] 脱区分	「F8] [F9] [F10] [F11] [F12] [編集] 中止開じる	

●[当期取得]メニュー

3. 種類コードに対象の勘定科目のコードを指定してから、「借方」の税区分コードを 指定して[Enter] キーを押します。

続いて、「貸方」の税区分コードでは変更せずにそのまま[Enter]キーを押すと、 勘定科目ごとの税区分を登録できます。



※購入時に消費税がかからない勘定科目や、「貸方」の税区分については、0もしくは空白のまま変更しません。



4. 購入時に消費税がかかる、すべての勘定科目の「借方」の税区分を設定したら、 [閉じる] ([F12] キー)を押します。



【日常業務での対応】(『償却奉行』) 仕訳伝票を作成する

以下の内容は、課税の商品だけを販売する事業者 または 課税と非課税の商品の両方を販売する事業者

のいずれの場合も、ご対応ください。

[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成]の各メニューで仕訳伝票を作成します。 その際は、<u>今までどおりの手順</u>で仕訳伝票を作成してください。

なお、作成した仕訳伝票に「非課税売上分一般仕入」「共通売上分一般仕入」に分類する 必要のある資産やリース資産が含まれる場合は、その仕訳伝票を『勘定奉行』 『勘定奉行[個 別原価管理編] 』 『建設奉行』で受け入れたあとに修正する必要があります。

【日常業務での対応】(『勘定奉行』) 『償却奉行』で作成された仕訳伝票の税区分を『勘定奉行』で修正する

ここでは、『償却奉行』で、勘定科目に対して「<u>課税売上</u>分一般仕入」が設定されている 資産のうち、「<u>共通売上</u>分一般仕入」にする必要のある資産について、その仕訳伝票の 税区分を変更する手順について説明します。

1. 『勘定奉行』の[日常処理1]-[仕訳処理]メニューを選択します。

2. 該当する伝票を検索するために、 [伝検索] ([F8] キー)を押します。

🛄 住訳	処理																
新規	R.		lear-services (								1	2	_		設定	ヘルプ	
	振替伝	祟	部門				24	年	4 月		伝票No	3		通常作	t訳件数	1328	
行		総勘		借		方			総勘		貸	7	ī		0.02		
付	部門	補助	科	目名	-	金	密東	部門	補助	科	目名		金	額	摘	要	
1																	Â
2																	
3								0									
			借方部門			借方	合計	а. С		貸方部門		-	貸方台	計 0	) ]	皆佳差額	
		T			<u> </u>			6	÷.								
[F1]	ſF	21	[F3]	[F4]	[F5]	[F6]	[F7]	C	[F8]	[F9]	[F10]	[F11]	[E12	1			
入金	入金「出金」中止「設定」前伝票「「「伝検索」」「自検索」閉じる」																
日付を入																	

3. 表示された[伝票検索条件指定]画面で、仕訳日付・税区分コード・登録区分などを指定し、[画面] ボタンをクリックします。

伝票検索条件指定 🛛 🔀	伝票区分
日付指定	全範囲 ▼
<ul> <li>● 伝票日付 ○登録日付</li></ul>	事業区分
24年 4月 ▼ 1日 ~ 24年 4月 ▼ 30日 全部用 ▼	全範囲
伝票番号 (償却奉行 ▼	登録区分
	【償却奉行 ▼】
	何箋
総 脚・ 「 最初~ 最後」 「 只通 の 上 の 一 版 に 人 」 に 复 更 9 る	全範囲 ▼
補助・ド 最初 ~ 最後 されているなど、対象仕訳を部門で	認証有無
表示順 絞り込める場合だけ指定します。	全範囲 ▼
· 貸借区分税区分	登録区分には、
② 全範囲 ○ 借方側 ○ 貸方側     □ ~ □	「償却奉行」を指定します。
利用者指定	•
○する ●しない 指定(!) 税区分は、	
画面(y) 印刷(P) 転送(P)     「1:課税売上分一般仕入」を	
終了伝票Noを入力して下さい。	J

4. 伝票上の税区分を修正するために、 [修正] ([F1] キー)を押します。

🛄 仕訳処3	理														6	
検索							a w	22	18 KZ	202				設定	ヘルブ	
振	替伝票	部門				24	年	4 月	1 E	伝票No	D	2	通常作	L訳件数	1328	
行	<u>会公</u> 市心	勘	ſi	<b>±</b>	方			総勘		貸		方		W/28		
付音	部門 補.	助	科目	2	金	客頁	部門	補助	科	目名		金	額	摘	要	
1	1 21	05  工具뮒	器具備品 しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしん しょうしょう しんしょう しんしょ しんしょ	往	3	50,000	1	100	現金			3	350,000			<u>^</u>
東	京			_		16,666	東京									
2			Г	=					=				4.5	1		
				「仕_	のマ	ークは	ま、オ	倪区	分一	1 :課	梲売_	と分-	一般			_
3				仕入	が設	定され	ってい	いる	ことる	を意味	してい	います	0			
		/# <del>*</del> * *	288		伸去。	X #1			信十分	8		位于.	0.51	J,	送 /# 关 #5	*
		恒力支	PIJ		1百刀 1				貝刀副	1	1 8	且刀		1 —	目信左領	0
2454	EQ.4 . 2	101			0	50,000		-					500,000			
₩ DE BOK	[24+ 0+	101														
[F1]	[F2]	[F3]	[F4]	[F5]	[F6]	[F7]		[F8]	[F9]	[F10]	[F11]	] [F1	2]			
_l® ⊥	複写	削除	」 次伝票	前伝票				発行	反対任			E I			1 100	
													12	s票入1/91°起重	1致: 0	件

	仕訳	処理														- • •
	修正		<b>_</b>		-		<b>.</b>					<b>1</b> •	Distance of	設定	ヘルプ	
	1 <del>45</del>	版替任	影響	部門	/#	+	24	年	4 月		伝票NO 使	2	通常性	訳件数	1328	_
	付	部門	補助	科目	···· 名	金	商	部門	補助	科	目名	<u> </u>	, 金額	摘	要	
	1	1	205	工具器具備。	品仕		350,000	1	100	現 金			350,000			<u>^</u>
		東京				(	16,666	東京		-		_				_
	2															
	3		1					2	1	1						-
																-
				借方部門		借方	合計	1	<b></b>	貸方部門	1	_	貸方合計	j ( <u></u>	信差額	
			東京				350,000		東京	_			350,000			0
r	[[1]		21	[E0] [E	4] [E	5] [E0	1 [57	1	FE:01	[[0]	[E10]	[[11]	[[10]			
	「FI」 [F2] [F3] [F4] [F5] [F6] [F7] [F6] [F8] [F10] [F10] [F11] [F12] 税区分 税処理 中止 事区分 端数 行削除 残 高 再計算 差 額 行挿入 終 了															
金	額を入力して下さい。[000表示] => ,+- または /+- [貨借差額の調整] => *+- 伝票スレッド起動数 : 0件															

5. 金額欄で、 [税区分] ([F1] キー)を押します。

6. 表示された[税区分検索]画面で、税区分を「3:共通売上分一般仕入」に変更し、 [OK] ボタンをクリックします。



7. 税区分が変更されていることを確認し、 [終了] ([F12] キー)を押して 伝票を登録します。

谢 勘定奉行21 Ver.5 - [仕訳処理]										
■ メインメニュー(M) 終了(D) オフジョン(D) ヘルフペ(H)	_ 8 ×									
回目田 OBC商事株式会社 法算期:第4期										
修正	設 定 ヘルプ									
振替伝票 部門 24 年 4 月 1 日 伝票No	3 通常仕訳件数 1328									
行 総勘 借 方 総勘 貸	方									
付 部門 補助 科目名 👝 金額 部門 補助 科目名	金額									
1 1 205 工具器具備品 🚊 350,000 1 100 現 金	350,000									
東京 16,666 東京										
	说区分「3:共通売上分									
頂方部     其方部     其方部     其方部     其市全部       東京     350,000     東京     350,000     0										
[F1] [F2] [F3] [F4] [F5] [F6] [F7] [F8] [F9] [F10] [F11 税区分 税処理 中止 事区分 端 数 行削除 残 高 再計算 差 額 行挿	] [F12] 入 終 了									
金額をヘフしし トさい。[UUU表示J => .キー または /キー Lig(首差額の)調整J => *キー 伝票入力期間:24年 4月 1日〜決覧	:額を入力して下さい。[000表示] => .キーまたは /キー [貸借差額の調整] => *キー 伝票スレット記動数: 0件 「伝票入力期間:24年 4月 1日~決留整理月31日 12/03/23 17:51 ::									

<sup>※</sup>検索した結果、修正対象の伝票が複数ある場合は、上記と同じ作業を繰り返し行ってください。